



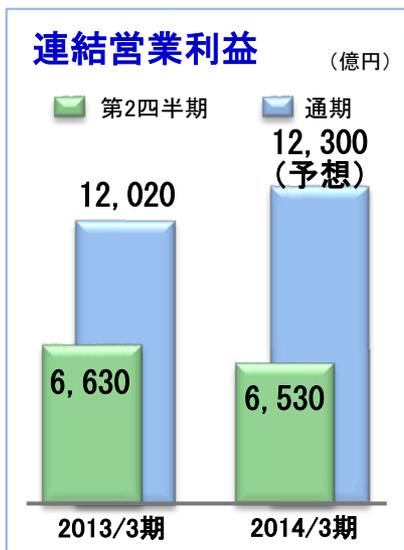
**2014年3月期 第2四半期決算について**

2013年11月8日

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。



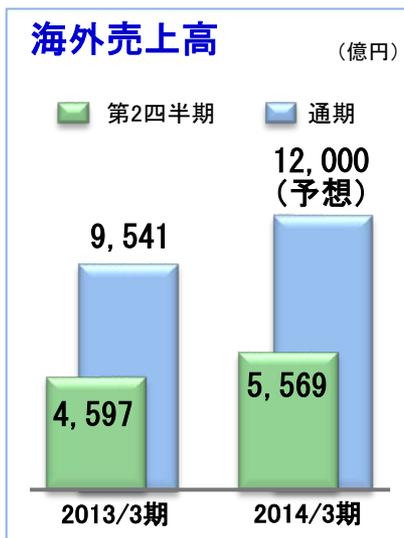
● 営業収益、営業利益ともに概ね前年並み  
当期純利益は対前年10%増益

● グローバル・クラウドサービスの拡大

- M&Aの推進
- 海外売上高 : 対前年+972億円、連結売上高の1割超
- 法人売上高海外比率 : 36.8%(対前年+4.5P)

● ネットワークサービスの競争力強化

- ユーザ基盤の拡大
  - ・Wi-Fiプラットフォームの拡大
  - ・iPhoneの販売開始
  - ・スマートフォン販売数632万台 Xi契約数1,640万(純増+483万)
  - ・フレッツ光1,767万契約(純増+37万) NTT東日本は1,000万突破(10月12日)
  - ・ひかりTV及びフレッツテレビは369万契約、dビデオ446万契約
- コスト削減
  - ・固定/移動アクセス系のコスト削減は、中期目標▲4,000億円以上(2015年3月期まで)に対して約7割の進捗



● 株主還元の充実

- 10月で自己株式取得2,500億円を完了

- 営業収益、営業利益ともに概ね前年並み
- 当期純利益は、対前年+10.3%増加となる3,235億円。直近5年間で最高益

(単位:億円)

	2014年3月期 第2四半期実績			2013年3月期 第2四半期実績
		対前年同期増減額	対前年同期増減率	
営業収益	52,661	+287	+0.5%	52,374
営業費用	46,130	+386	+0.8%	45,744
営業利益	6,530	▲ 99	▲ 1.5%	6,630
四半期(当期) 純利益※	3,235	+301	+10.3%	2,934

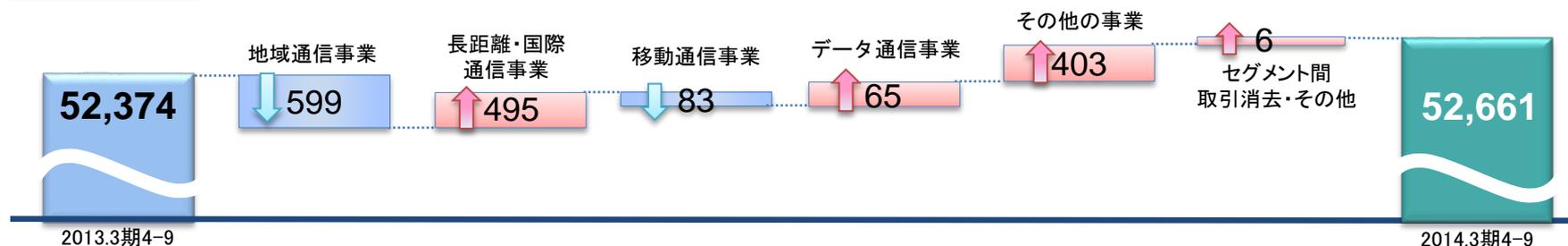
※四半期(当期)純利益は、当社に帰属する四半期(当期)純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

- 地域通信事業：フレッツ光の解約率抑制、法人NWサービスの拡大及びコストコントロールにより増益
- 長距離・国際通信事業：海外売上高の拡大により増収、一過性の要因を除けば前年並みの利益を確保
- 移動通信事業：ツートップ戦略やコスト削減を進めたことにより前年並みの利益を確保
- データ通信事業：不採算案件の影響により大幅減益

## 営業収益

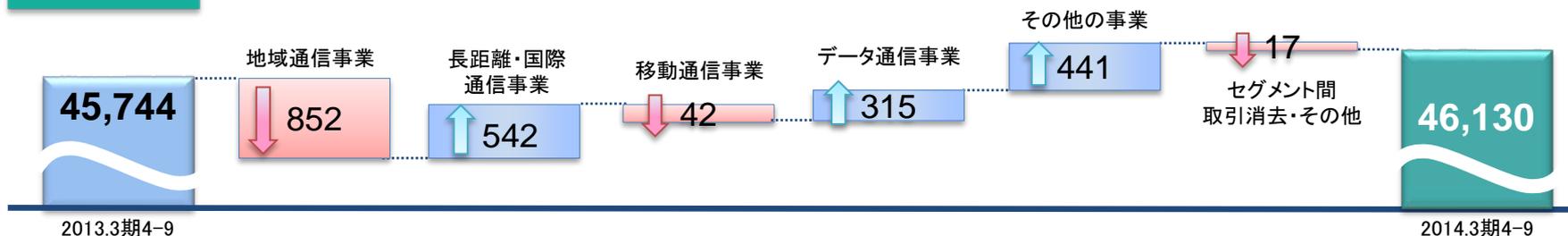
(対前年同期: +287)

(単位: 億円)



## 営業費用

(対前年同期: + 386)



## 営業利益

(対前年同期: ▲99)

2013.3期4-9実績	地域通信事業	長距離・国際通信事業	移動通信事業	データ通信事業	その他の事業	セグメント間取引消去・その他	2014.3期4-9実績
6,630	+253	-47	-41	-250	-38	+23	6,530

● 当初業績予想を据え置き。グループ全体で増益に取組み1.23兆円の営業利益を確保

(単位：億円)

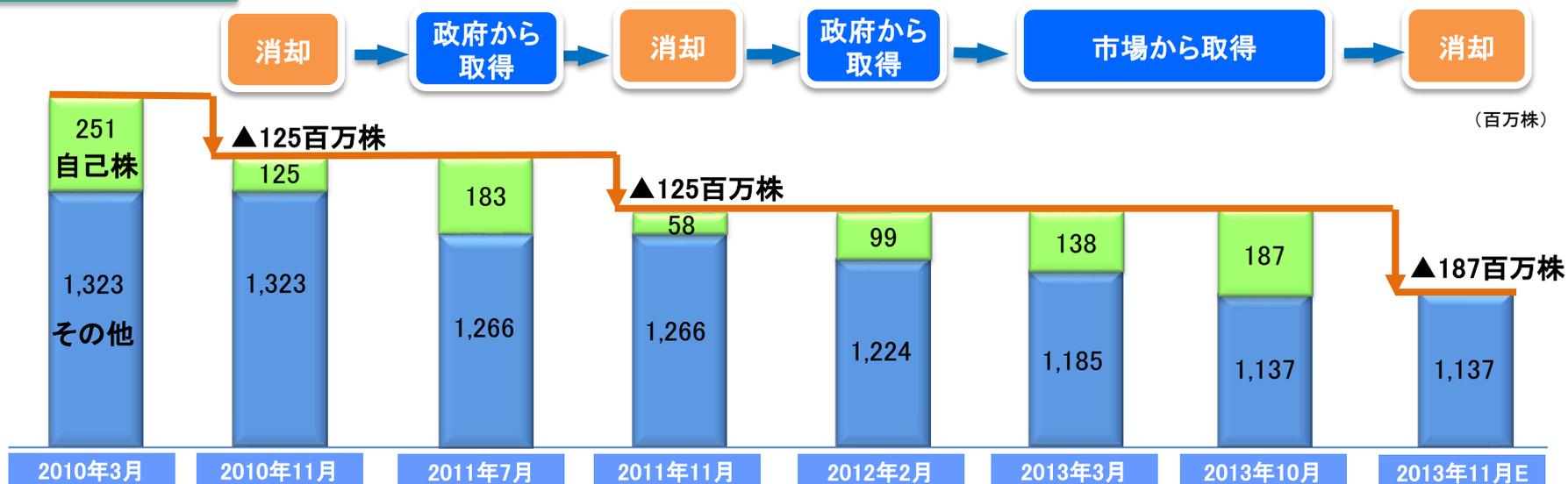
	2014年3月期 通期業績予想		2014年3月期 第2四半期実績	2014年3月期 第2四半期実績 進捗率
		対当初増減額		
営業収益	110,000	0	52,661	47.9%
営業費用	97,700	0	46,130	47.2%
営業利益	12,300	0	6,530	53.1%
四半期(当期) 純利益 ※1	5,850	0	3,235	55.3%
EPS ※2 (単位：円)	503.22			

※1 当期純利益は、当社に帰属する当期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

※2 2013年3月期のEPS(PLDT社の持分法遡及適用後)は、430.68円です。

- **株式消却** : 186.5百万株の自己株式消却を決議
- **配当** : 期末配当を10円増額し、年間では1株当たり170円の配当

## 株式数の変遷



## 1株当たり配当額の推移

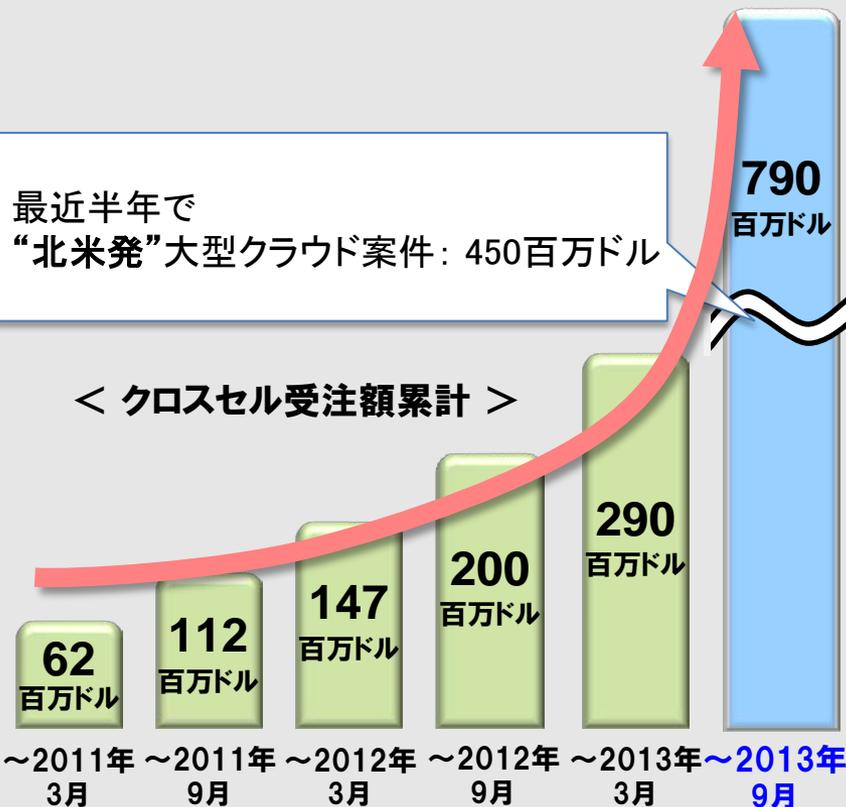


## 中期経営戦略“新たなステージを目指して”の進捗

---

2010年10月以降、  
クロスセルによる受注額：計790百万ドル

最近半年で  
“北米発”大型クラウド案件：450百万ドル

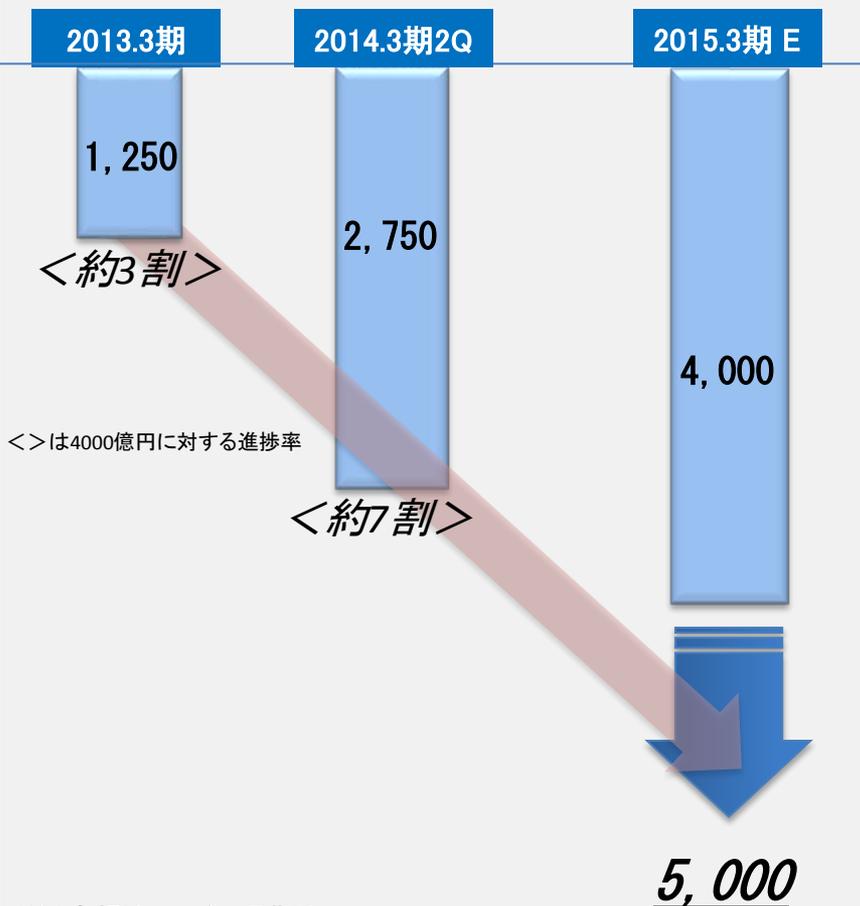


## コアコンピタンスを更に強化するM&A

- 欧州SI事業者(everis社)の買収 (NTTデータ)  
～欧州、中南米におけるSI事業基盤の強化
- 米国DC事業者(RagingWire社)の買収 (NTTコム)  
～クラウドデータセンターサービスの強化
- 米国大手NW事業者(Virtela社)の買収 (NTTコム)  
～クラウド型ネットワークサービスの強化

## 固定/移動アクセス系のコスト削減

(億円)



(注)金額は2012年3月期比

● 2014年3月期第2四半期は、▲2,750億円\*となり、中期目標(2015年3月期)に対して約7割の進捗



● 中期目標を「▲4,000億円\*以上」から「▲5,000億円\*」に

\*2012年3月期比

## ブロードバンド・サービスの進展

---

- 競争力のある価格設定や継続利用促進の取組みにより37万増の1,767万契約
- 中堅中小のビジネス需要の取り込みやWi-Fiの活用などの取組みを強化し、年間計画の達成を目指す

## 契約数

(単位:千契約)



## 対前四半期別純増(減)数

	2013.3期				2014.3期			2013.3期 通期実績	2014.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	上期計		
Fレッツ光 ※1	307	148	143	138	220	152	372	736	1,000
開通数 ※2	982	762	750	848	870	707	1,577	3,343	3,450
FレッツADSL	▲ 115	▲ 108	▲ 131	▲ 119	▲ 98	▲ 88	▲ 186	▲ 474	▲ 402
ひかり電話 ※3	351	305	295	318	242	252	495	1,269	1,250

(単位:千契約)

※1 Fレッツ光は、NTT東日本のBレッツ、Fレッツ 光ネクスト、Fレッツ 光ライト及びFレッツ 光WiFiアクセス、NTT西日本のBレッツ、Fレッツ・光プレミアム、Fレッツ・光マイタウン、Fレッツ 光ネクスト、Fレッツ 光ライト及びFレッツ 光WiFiアクセスを含めて記載しております。

※2 開通数は移転による開通分を除いて記載しております。

※3 ひかり電話は、チャンネル数(単位:千)を記載しております。

- Xi契約数は堅調に拡大しており、1,640万契約
- 充実したAndroidラインナップにiPhoneを加え、魅力ある端末提供とNW品質の強化により、ユーザ基盤の更なる拡大を図る

## 契約数 ※

(単位:千契約)

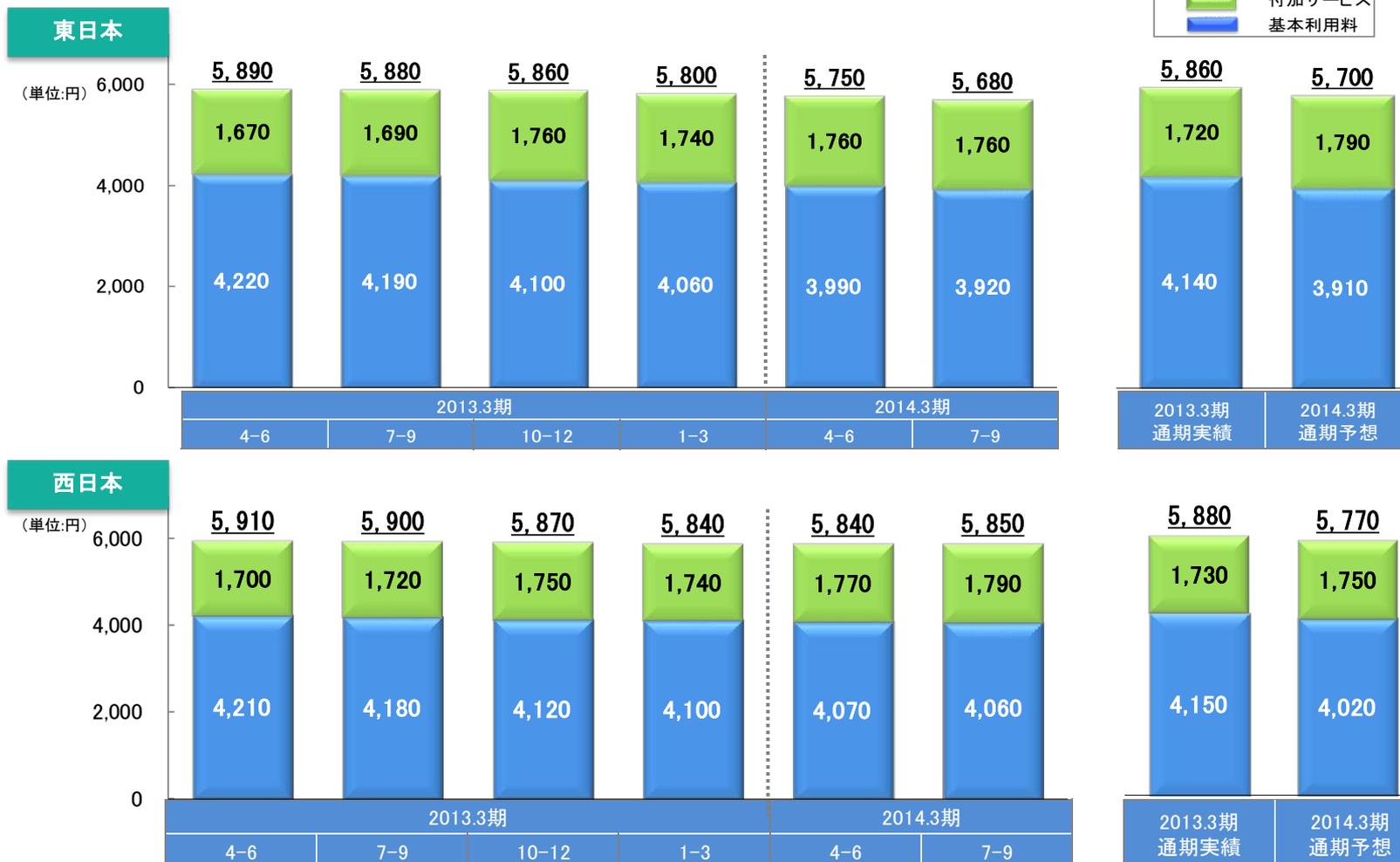


## 対前四半期別純増数

	2013.3期				2014.3期			2013.3期 通期実績	2014.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	2Q累計		
FOMA+Xi	266	391	201	548	87	149	236	1,407	1,850

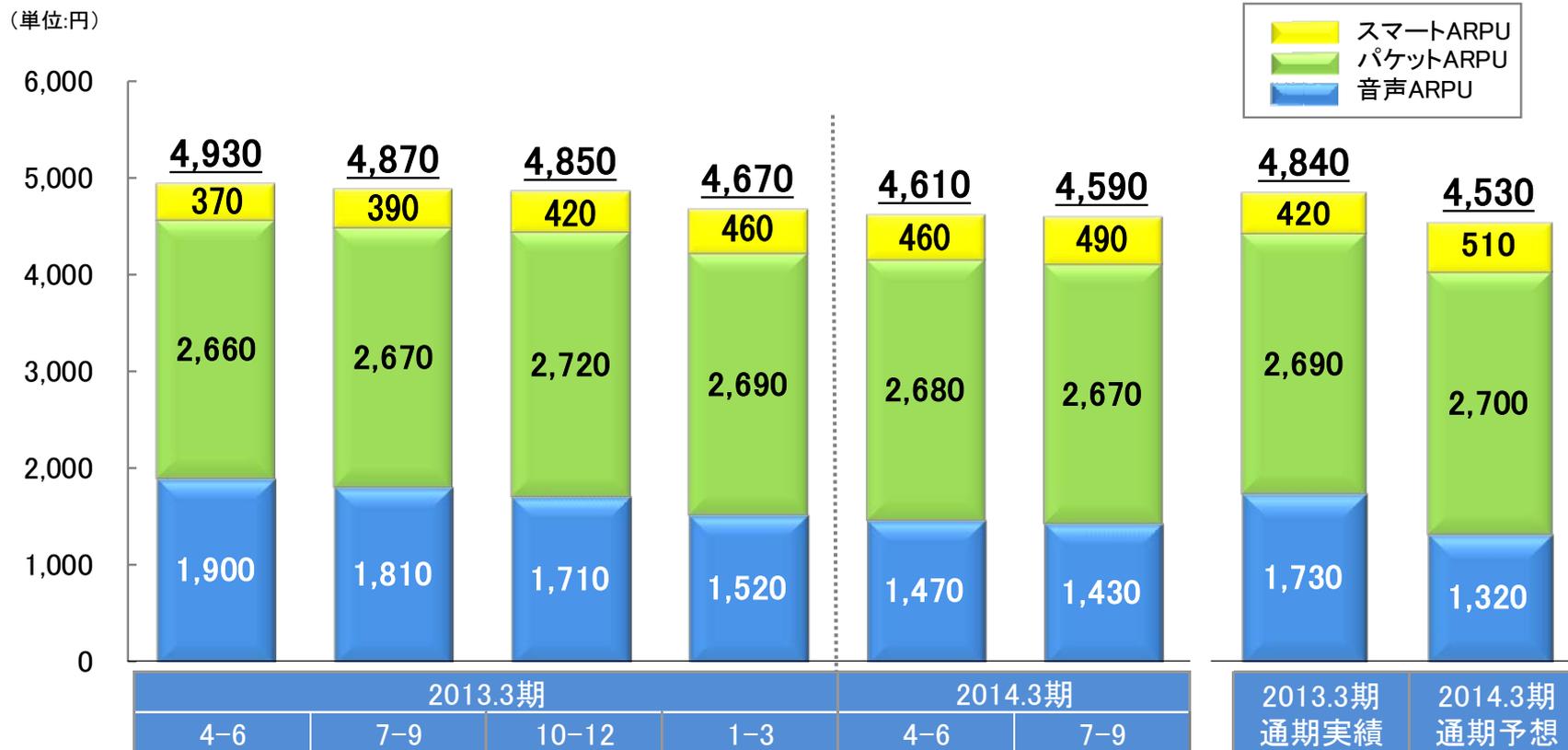
※ 通信モジュールサービス契約数は移動ブロードバンド契約数に含めて記載しております。

- 付加サービスは、ひかり電話等の契約の拡大により対前年増加
- 基本利用料は、割引サービスの拡大により対前年減少



\* フレッツ光は、NTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセス、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン、フレッツ光ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセスを含めて記載しております。なお、2014.3期よりフレッツVPNワイドの収入をフレッツ光ARPUの算定に含めております(2013.3期も修正)。各ARPUの算定方法等については、26ページをご参照下さい。

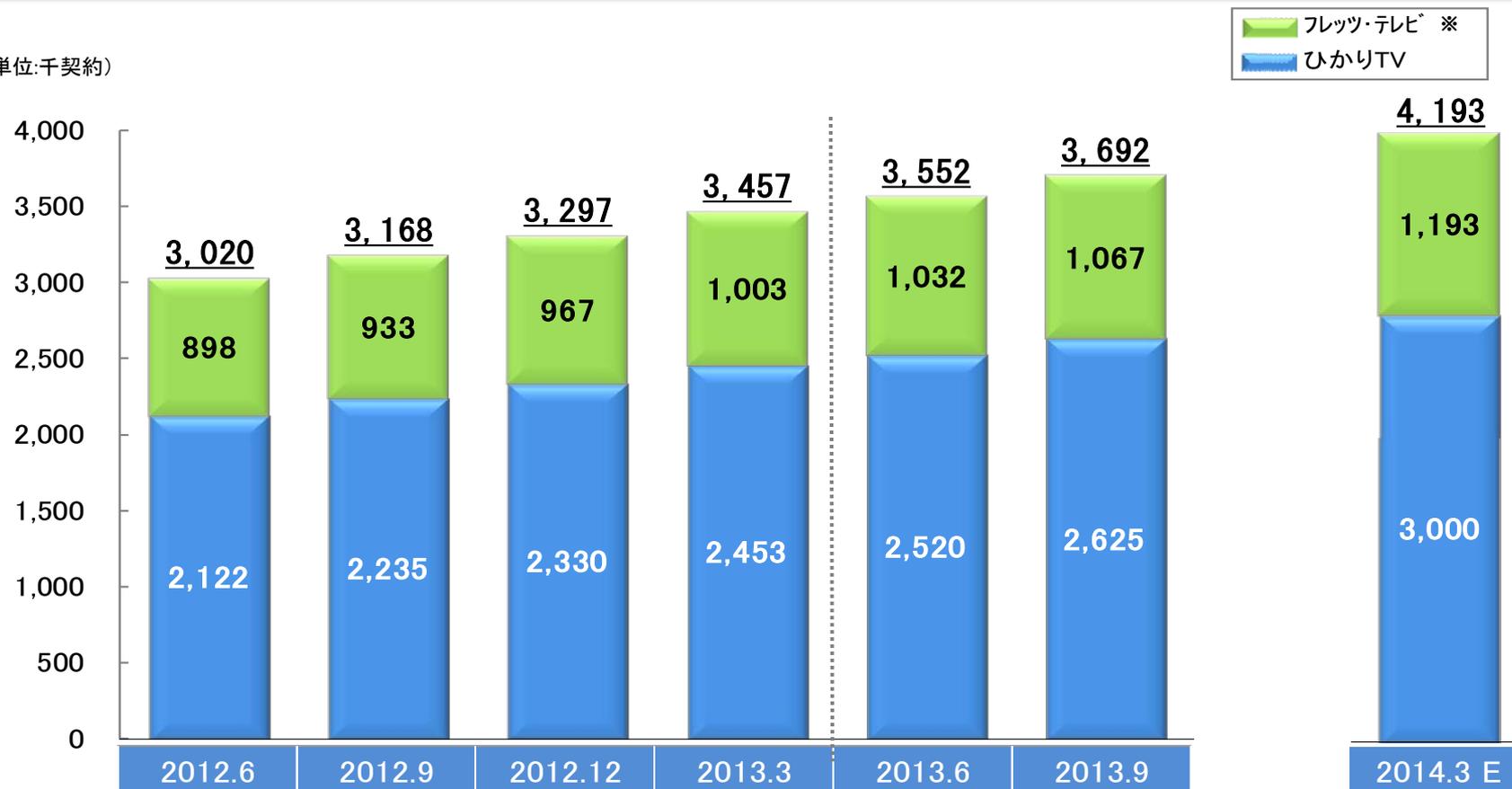
- 音声ARPUは、月々サポート割引影響の拡大等により対前年減少
- パケットARPUは、月々サポート割引影響やスマートフォンの利用拡大等により対前年同
- スマートARPUは、dマーケットをはじめとした新サービスの拡大等により対前年増加



※ 通信モジュールサービスは、ARPUの算定上、収入、契約数ともに含めておりません。  
 ※ 各ARPUの算定方法等については、26ページをご参照下さい。

- ひかりTV及びフレッツ・テレビは369万契約に増加
- スマートテレビを中心としたマルチデバイス化への取組みや、音楽、ゲームなど新たなビジネスの展開により顧客基盤の拡大を図る

(単位:千契約)



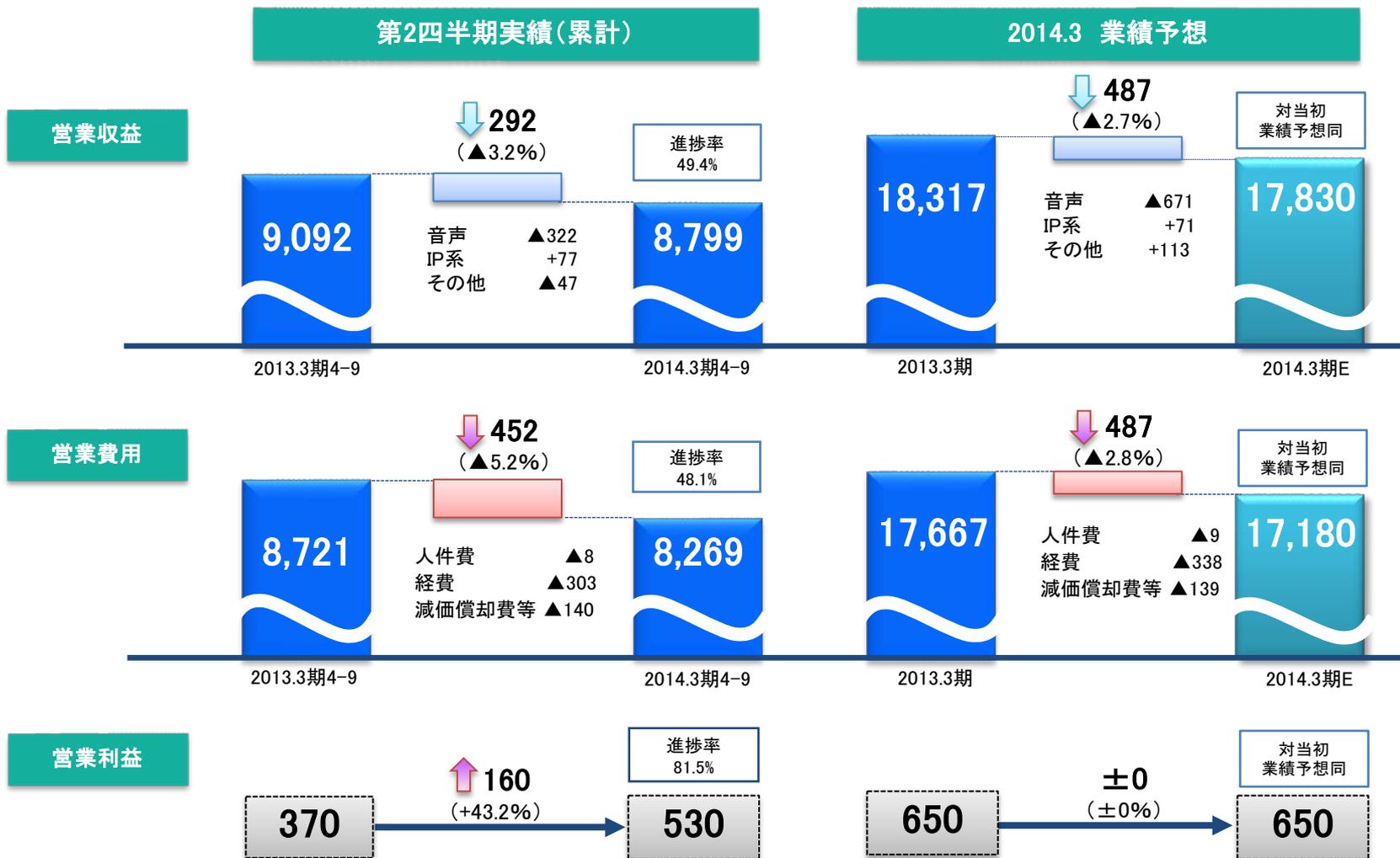
※「フレッツ・テレビ」はNTT東西の「フレッツ・テレビ伝送サービス」の契約と、オプティキャストの放送サービス「オプティキャスト施設利用サービス」の契約により提供されるサービスです。

## 財務状況

---

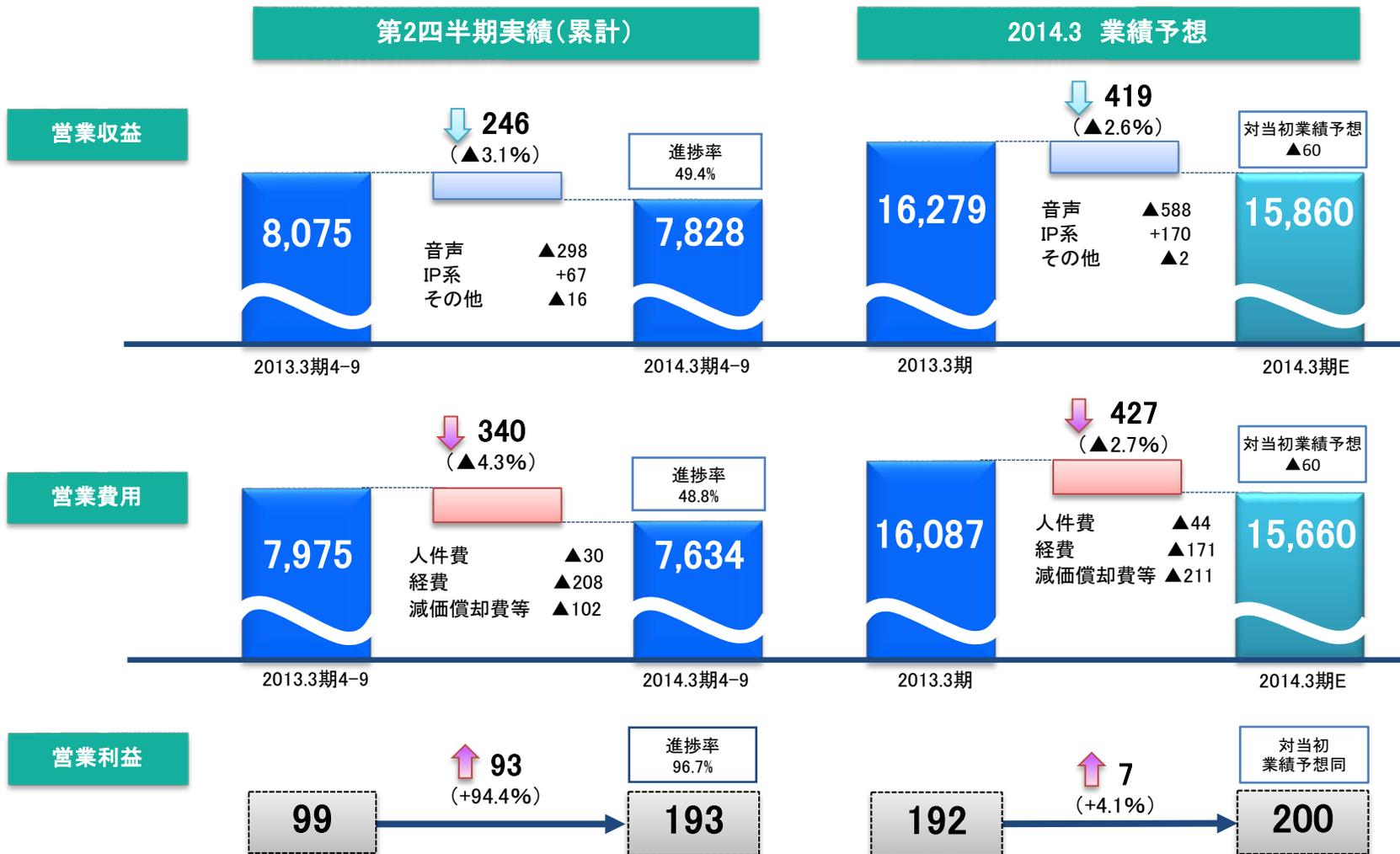
- 音声収入の縮小により減収、経費等の効率化により増益
- 業績予想は、営業収益、営業利益ともに当初業績予想を据え置く

(単位：億円)



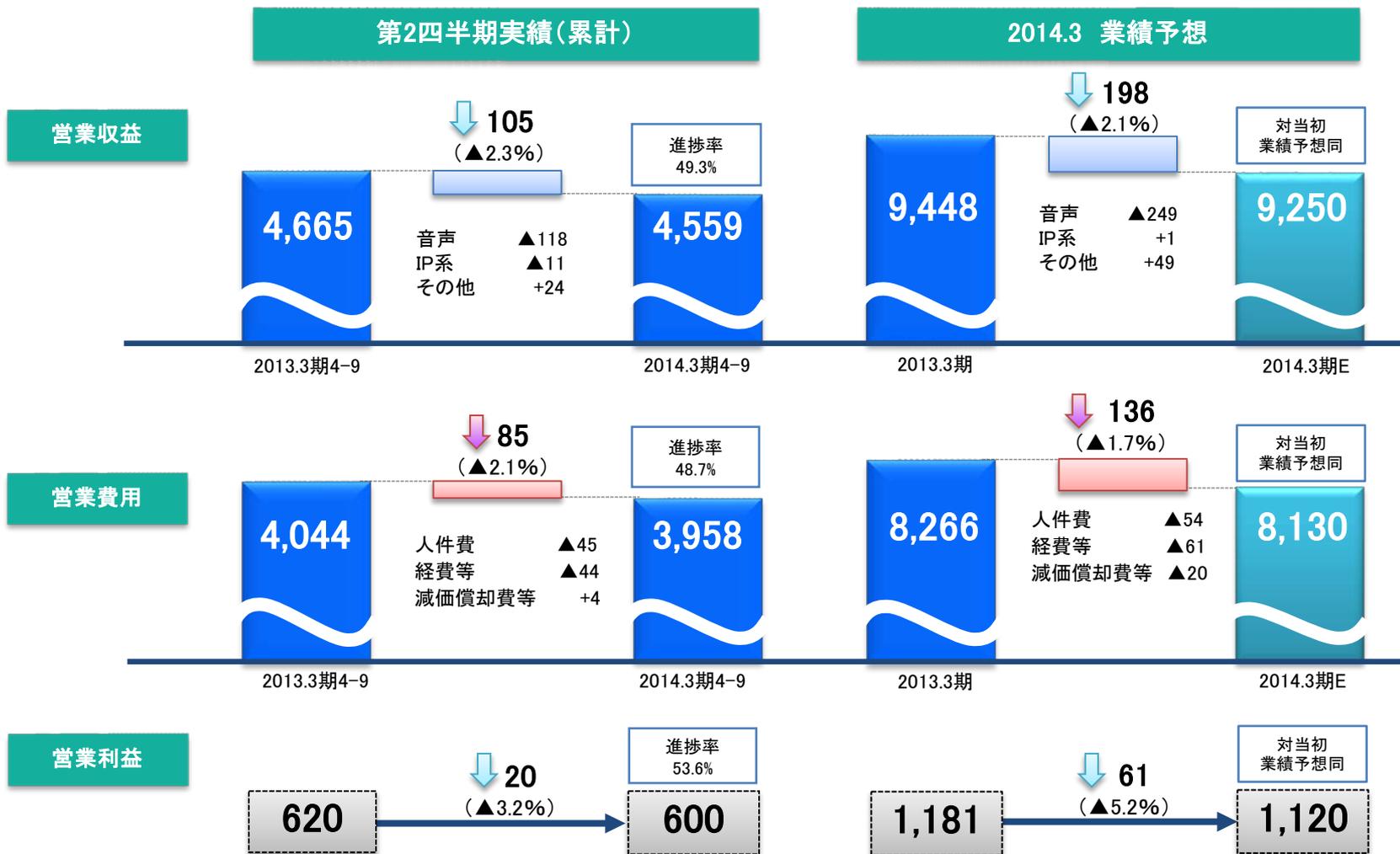
- 音声収入の縮小により減収、経費等の効率化により増益
- 業績予想は、割引サービス拡大の影響等により、営業収益は▲60億円の減収とするが、コストコントロールにより、営業利益は当初業績予想を据え置く

(単位：億円)



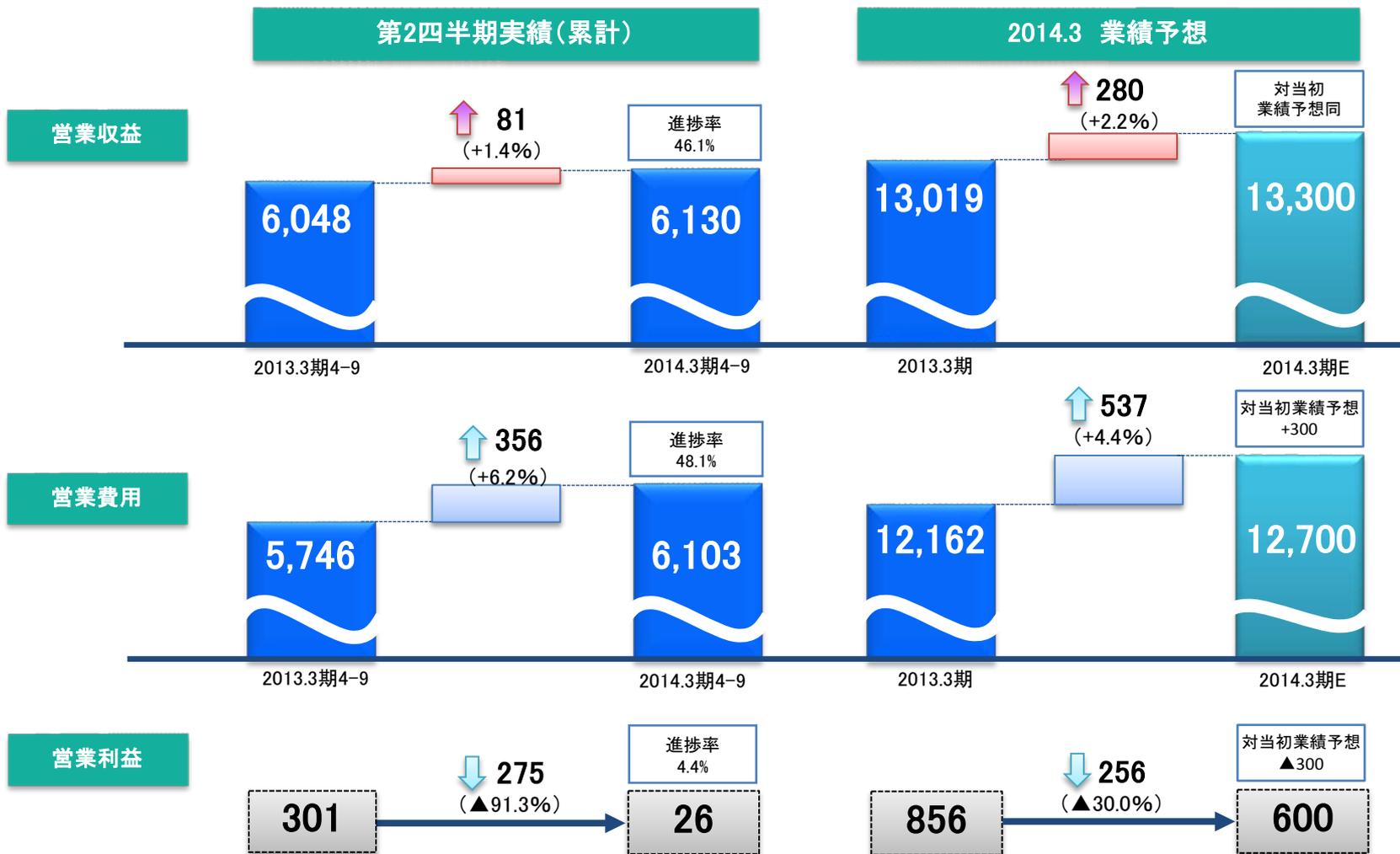
- 業務の効率化による営業費用の減はあるものの、減収傾向が継続し減益
- 業績予想は、営業収益、営業利益ともに当初業績予想を据え置く

(単位：億円)



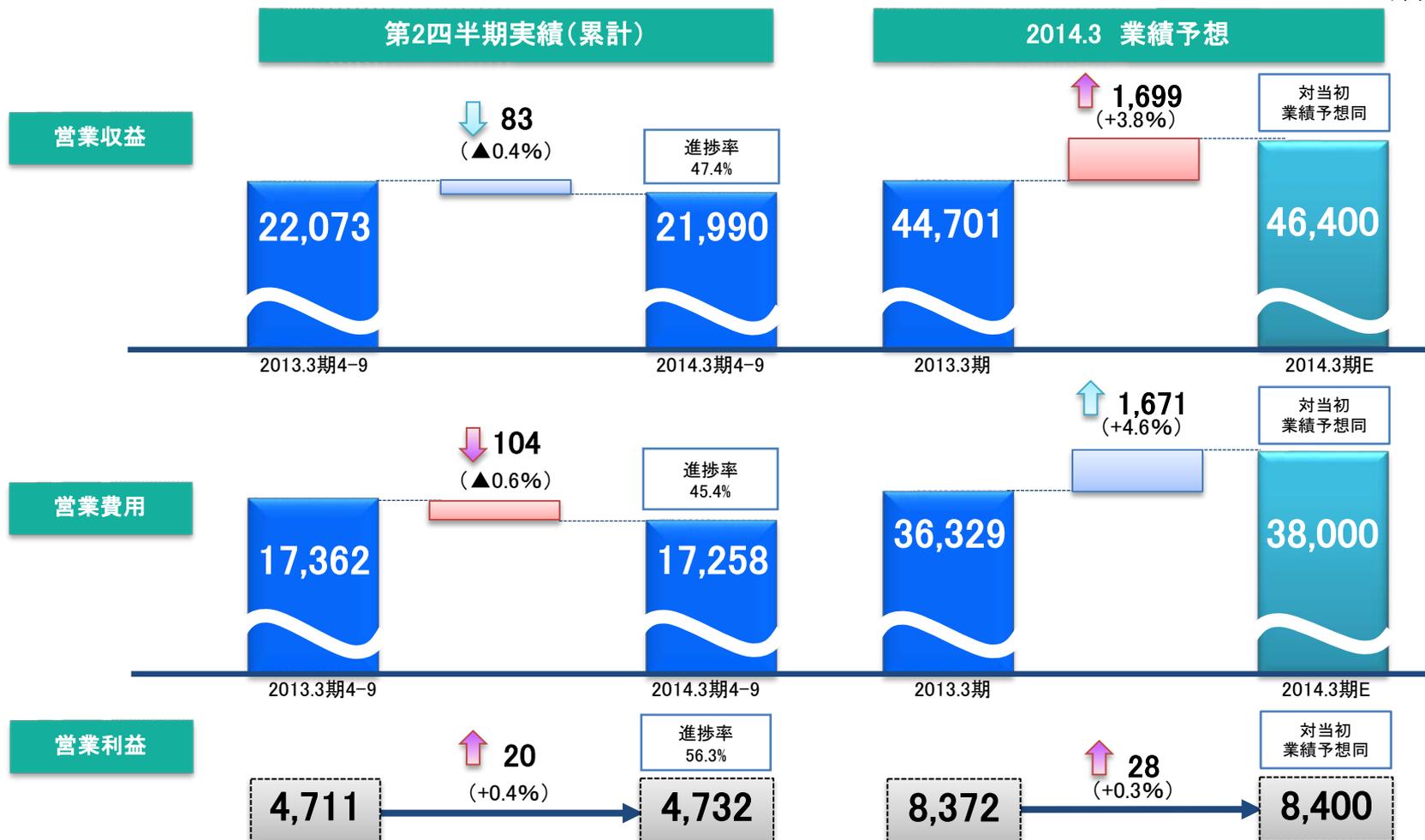
- 海外売上高の増加はあるものの、不採算案件の影響等により減益
- 業績予想は、営業収益については当初業績予想を据え置くが、不採算案件の影響等により、営業利益は▲300億円の下方修正

(単位：億円)



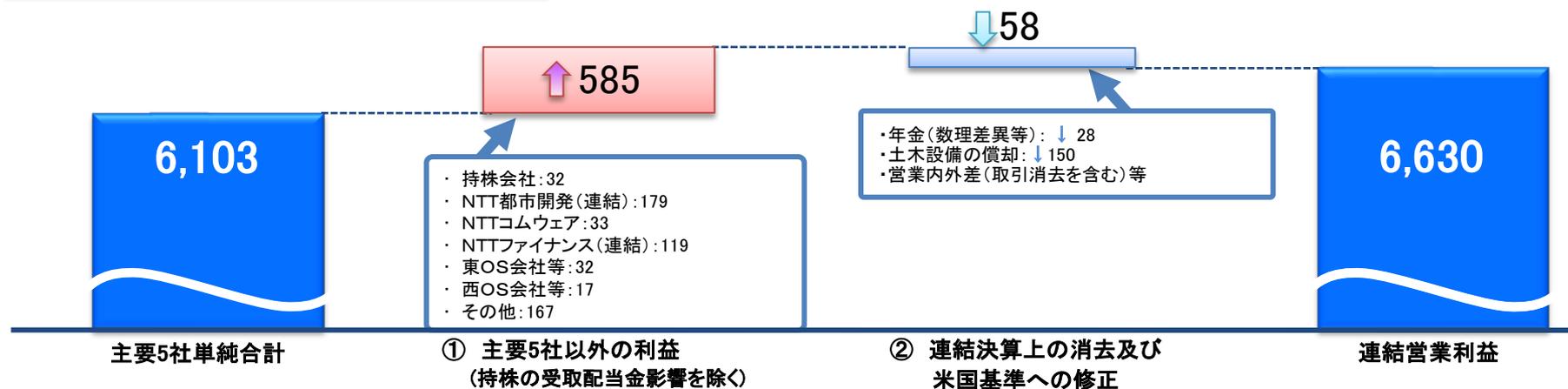
- 月々サポート割引影響により減収、経費等の効率化により増益
- 業績予想は、営業収益、営業利益ともに当初業績予想を据え置く

(単位:億円)

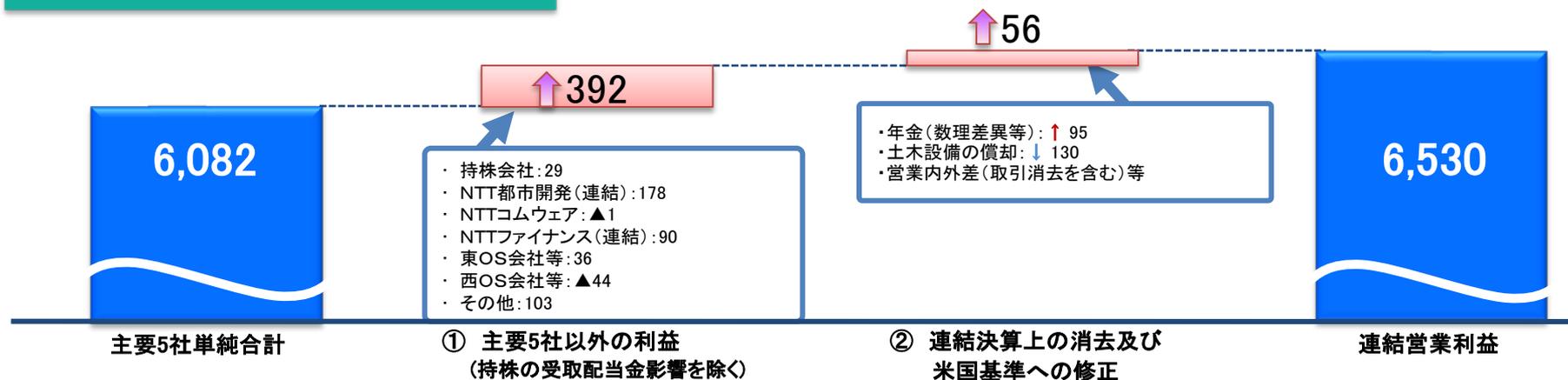


## 2013.3月期 第2四半期実績(累計)

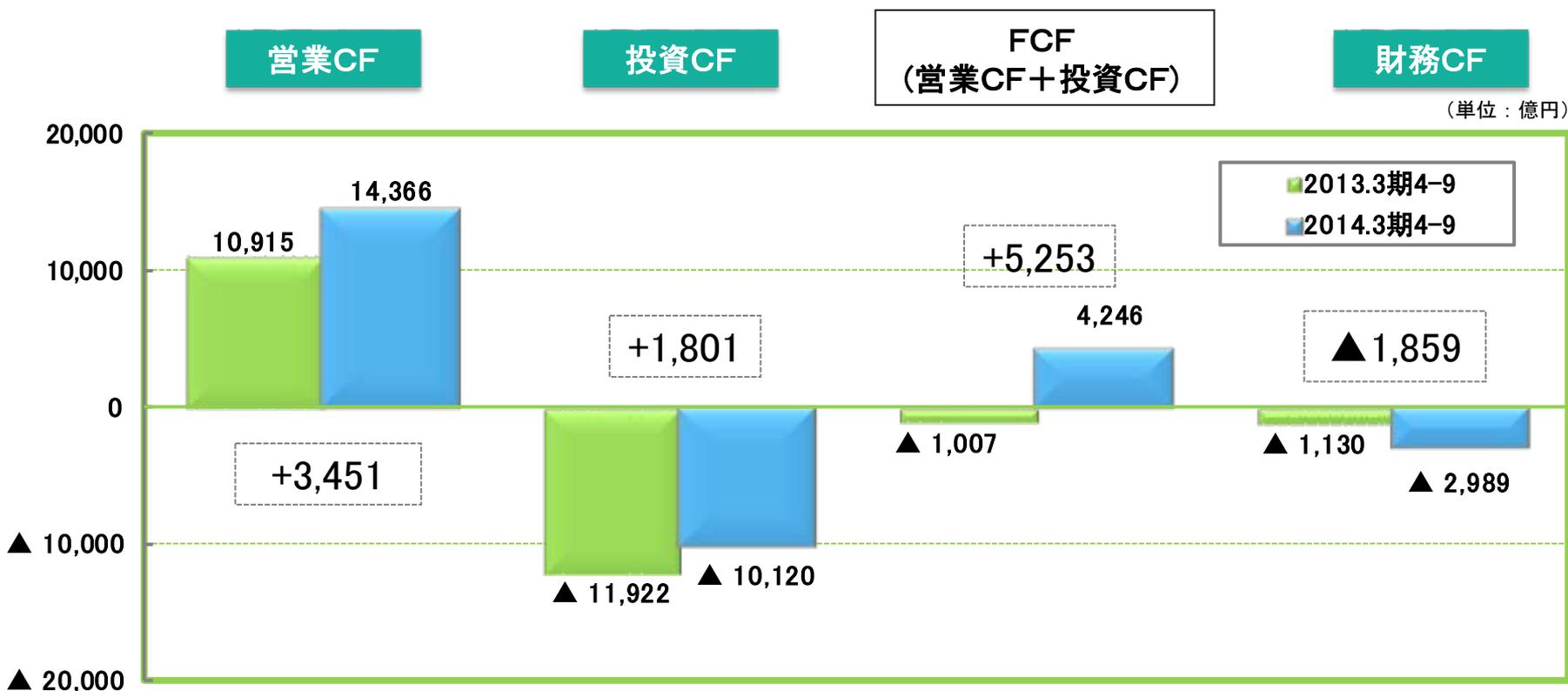
(単位：億円)



## 2014.3月期 第2四半期実績(累計)



● 銀行休業日の影響に加え、携帯端末の割賦債権の回収が増加したことや設備投資の減少等により、FCFは前年比5,253億円の増加

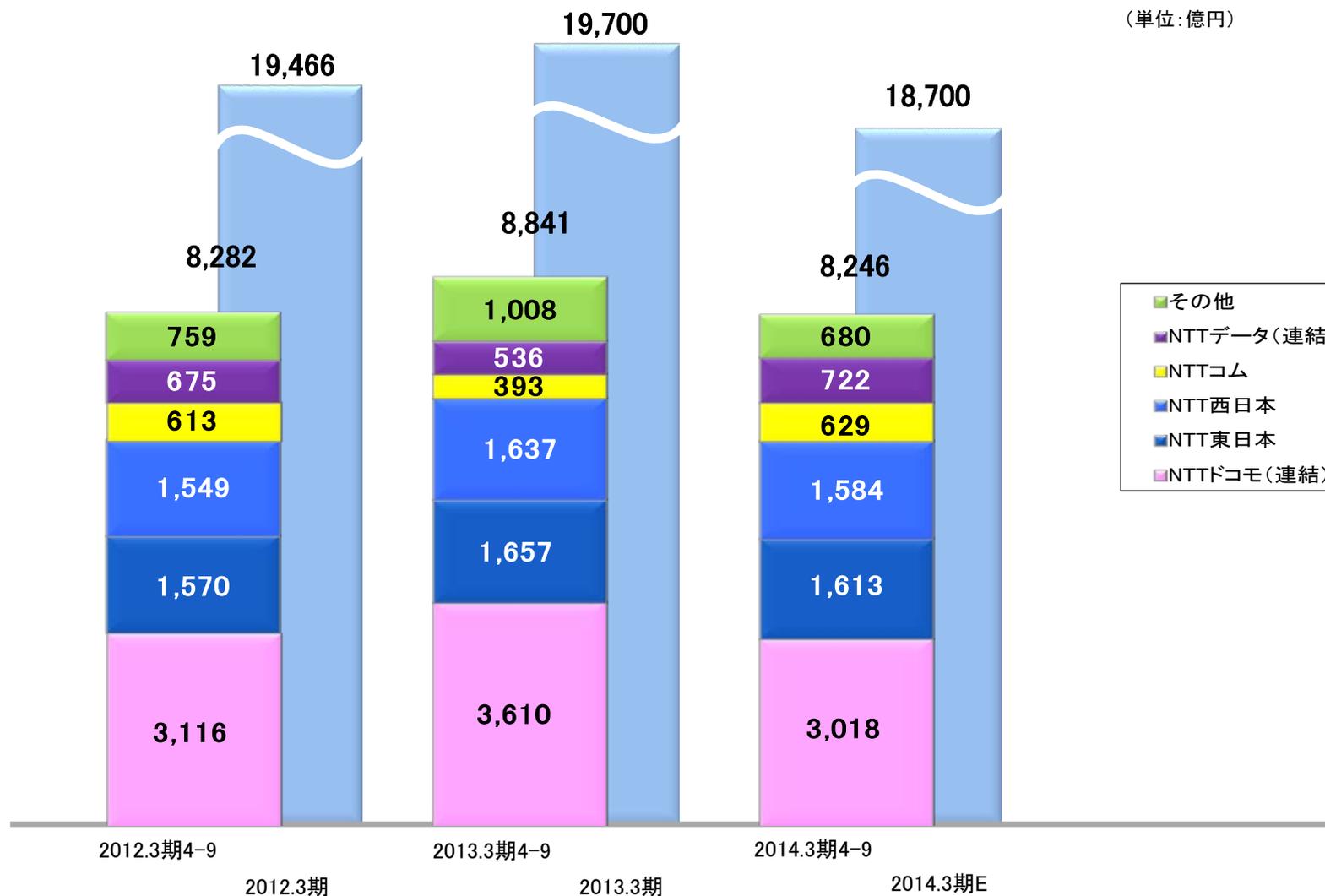


内は対前年同期増減額

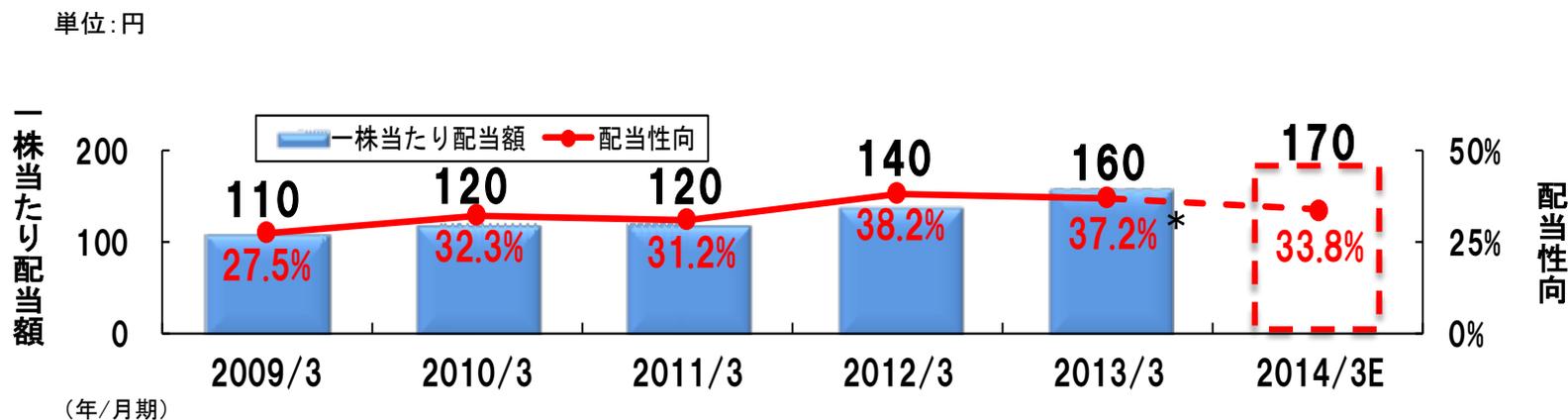
# Appendices

---

(単位: 億円)

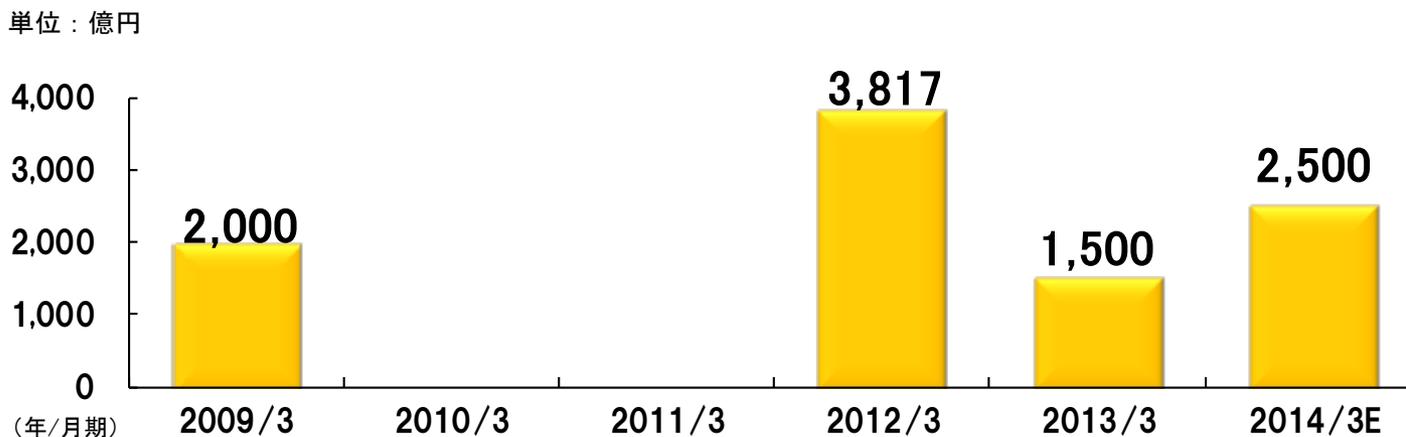


## 配当



\* 2013年3月期は、PLDT社の持分法遡及適用後の数値。

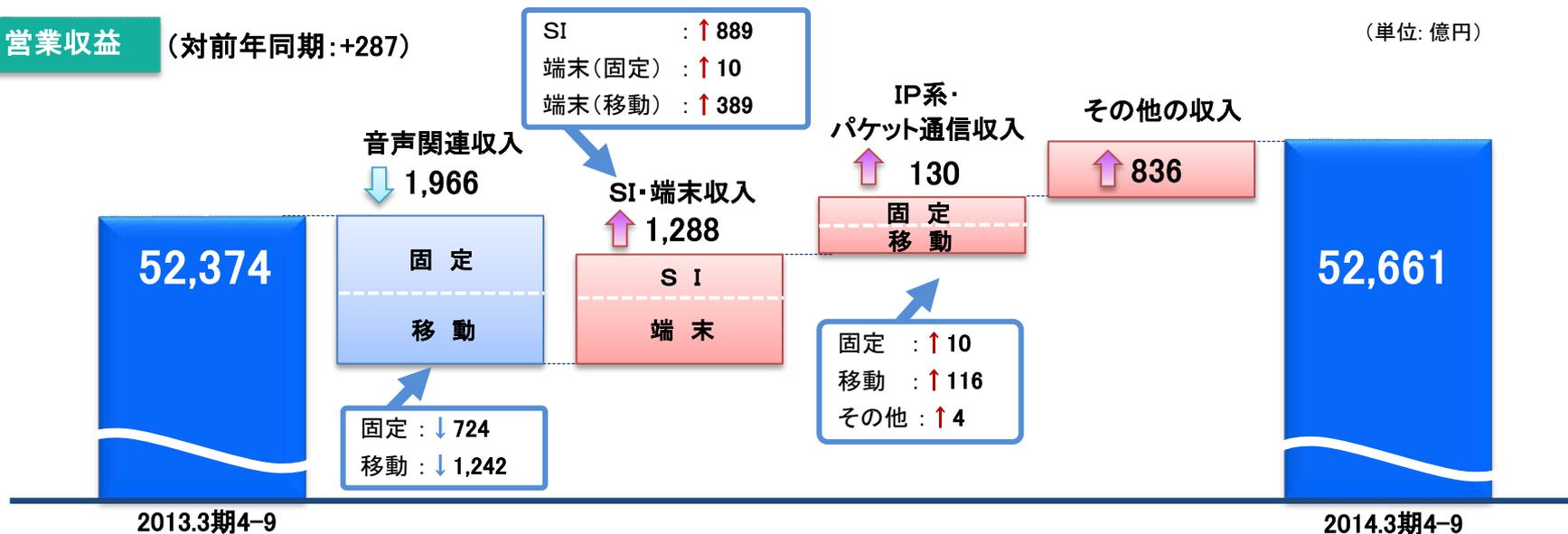
## 自己株式取得



## 営業収益

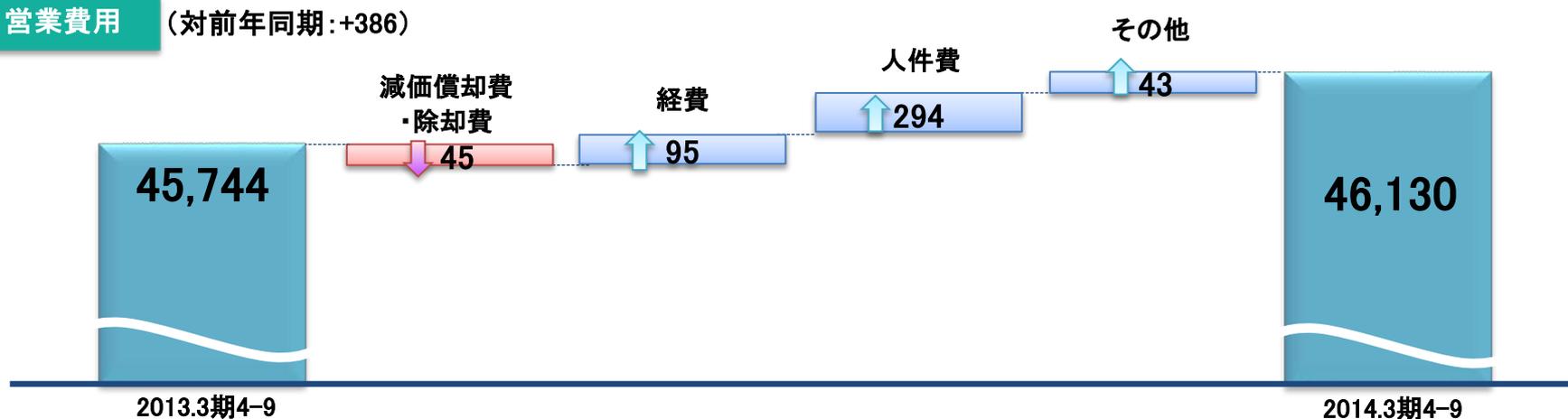
(対前年同期:+287)

(単位: 億円)



## 営業費用

(対前年同期:+386)



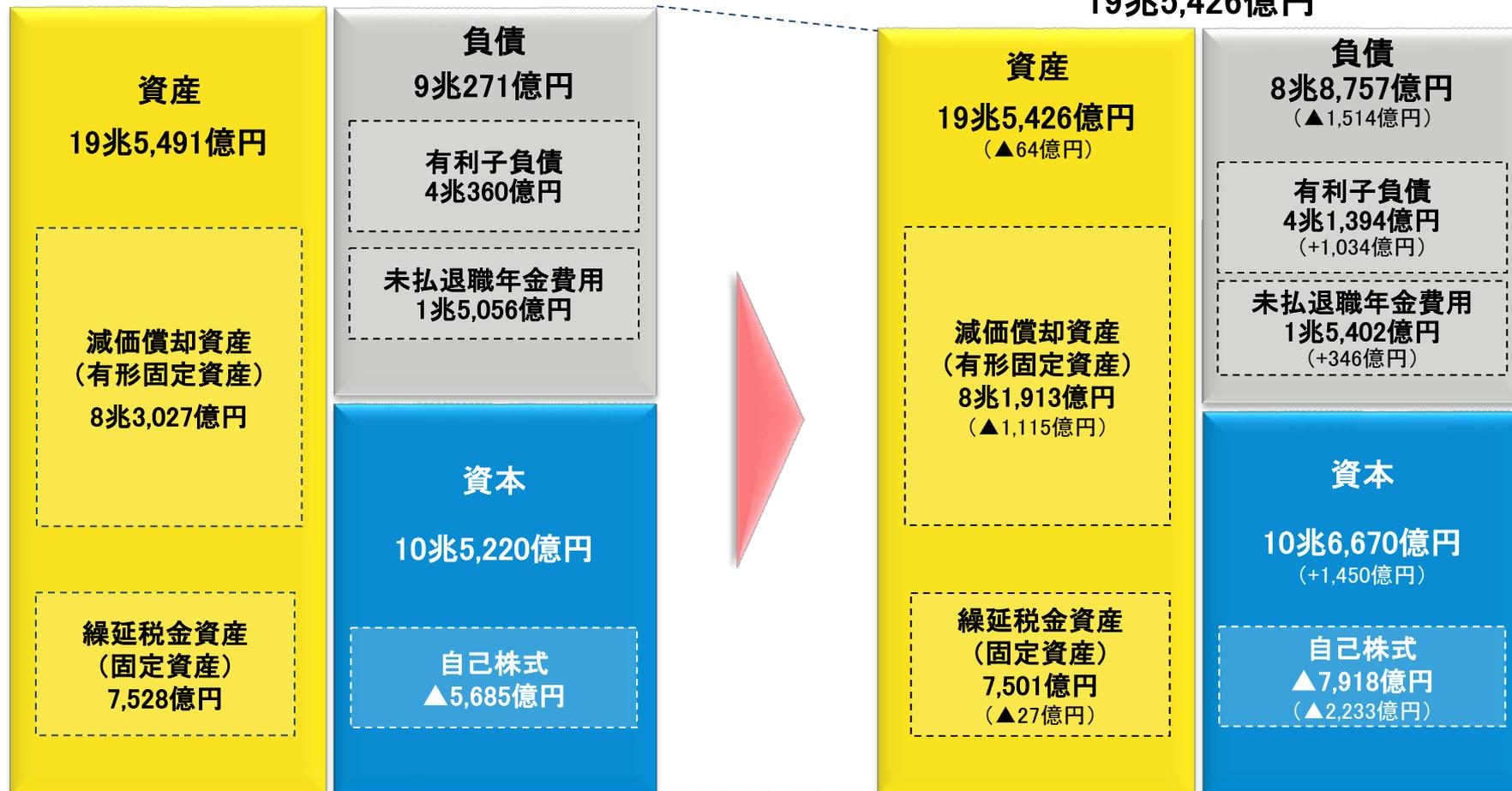
※ 2014年3月期より収益科目の内訳を一部見直したため、各収益科目の対前年同期比は、2013年3月期を見直し後の数値で比較しております。

2013年3月期末

2014年3月期第2四半期末

19兆5,491億円

19兆5,426億円



※ 2013年3月期は、PLDT社の持分法遡及適用後の数値。

(単位: 億円)

区 分	※1 NTT連結 〈米国基準〉	NTT(持株) 〈日本基準・単独〉	NTT東日本 〈日本基準・単独〉	NTT西日本 〈日本基準・単独〉	NTTコム 〈日本基準・単独〉	NTTデータ 〈日本基準・連結〉	NTTドコモ 〈米国基準・連結〉
	<b>営業収益</b>	<b>52,661</b>	<b>2,645</b>	<b>8,799</b>	<b>7,828</b>	<b>4,559</b>	<b>6,130</b>
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	287 (0.5%)	4 (0.2%)	▲ 292 (▲3.2%)	▲ 246 (▲3.1%)	▲ 105 (▲2.3%)	81 (1.4%)	▲ 83 (▲0.4%)
業績予想 (進捗率)	110,000 (47.9%)	4,330 (61.1%)	17,830 (49.4%)	15,860 (49.4%)	9,250 (49.3%)	13,300 (46.1%)	46,400 (47.4%)
<b>営業費用</b>	<b>46,130</b>	<b>666</b>	<b>8,269</b>	<b>7,634</b>	<b>3,958</b>	<b>6,103</b>	<b>17,258</b>
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	386 (0.8%)	▲ 40 (▲5.7%)	▲ 452 (▲5.2%)	▲ 340 (▲4.3%)	▲ 85 (▲2.1%)	356 (6.2%)	▲ 104 (▲0.6%)
業績予想 (進捗率)	97,700 (47.2%)	1,490 (44.7%)	17,180 (48.1%)	15,660 (48.8%)	8,130 (48.7%)	12,700 (48.1%)	38,000 (45.4%)
<b>営業利益</b>	<b>6,530</b>	<b>1,979</b>	<b>530</b>	<b>193</b>	<b>600</b>	<b>26</b>	<b>4,732</b>
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	▲ 99 (▲1.5%)	44 (2.3%)	160 (43.2%)	93 (94.4%)	▲ 20 (▲3.2%)	▲ 275 (▲91.3%)	20 (0.4%)
業績予想 (進捗率)	12,300 (53.1%)	2,840 (69.7%)	650 (81.5%)	200 (96.7%)	1,120 (53.6%)	600 (4.4%)	8,400 (56.3%)
※2 <b>税引前利益</b>	<b>6,758</b>	<b>1,938</b>	<b>669</b>	<b>255</b>	<b>722</b>	<b>13</b>	<b>4,818</b>
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	330 (5.1%)	24 (1.3%)	181 (37.1%)	109 (75.0%)	12 (1.8%)	▲ 254 (▲95.0%)	162 (3.5%)
業績予想 (進捗率)	12,800 (52.8%)	2,780 (69.7%)	830 (80.6%)	280 (91.4%)	1,220 (59.2%)	490 (2.7%)	8,420 (57.2%)
<b>四半期純利益</b>	※3 <b>3,235</b>	<b>1,932</b>	<b>426</b>	<b>161</b>	<b>534</b>	▲ 37	※4 <b>3,004</b>
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	301 (10.3%)	23 (1.2%)	110 (35.0%)	35 (28.4%)	89 (20.1%)	▲ 171 -	145 (5.1%)
業績予想 (進捗率)	5,850 (55.3%)	2,800 (69.0%)	500 (85.2%)	190 (84.7%)	840 (63.6%)	230 -	5,100 (58.9%)

※1 連結子会社 842社 持分法適用会社 105社

※2 NTT(持株)~NTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

※3 NTT連結の四半期純利益は、当社に帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

※4 NTTドコモの四半期純利益は、NTTドコモに帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

1契約当たりの月間平均収入（ARPU）は、契約者1人当たりの平均的な月間営業収益を算定するために使われます。固定通信事業の場合、ARPUは、地域通信事業の営業収益のうち、加入電話、INSネット、及びフレッツ光の提供により毎月発生する収入を、当該サービスの稼働契約数で除して計算されます。移動通信事業の場合、ARPUは、移動通信事業の営業収益のうち、携帯電話（FOMA）、及び携帯電話（Xi）のサービス提供により発生する収入（基本使用料、通話料/通話料、FOMA及びXiサービスに付随する収入）を、当該サービスの稼働契約数で除して計算されます。これら数字の計算からは、各月の平均的な利用状況を表さない端末機器販売、契約事務手数料、ユニバーサルサービス料などは除いています。こうして得られたARPUは各月のお客様の平均的な利用状況を把握する上で有用な情報を提供するものであると考えております。尚、ARPUの分子に含まれる収入は米国会計基準による連結決算値を構成する財務数値により算定しております。

①NTT東日本及びNTT西日本のARPUは、以下の4種類に分けて計算をしております。

- ・ 音声伝送収入（IP系除く）に含まれる加入電話とINSネットの基本料、通信・通話料、及びIP系収入に含まれるフレッツADSL、フレッツISDNからの収入に基づいて計算される固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）。
- ・ 加入電話の基本料、通話料、フレッツADSLからの収入に基づいて計算される加入電話ARPU。
- ・ INSネットの基本料、通信・通話料、フレッツISDNからの収入に基づいて計算されるINSネットARPU。
- ・ IP系収入に含まれるフレッツ光、フレッツ光のオプションサービスからの収入、ひかり電話における基本料・通信料・機器利用料、及び附帯事業営業収益に含まれるフレッツ光のオプションサービス収入に基づいて計算されるフレッツ光ARPU。
  - － フレッツ光はNTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセス、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセスを含めて記載しております。
  - － 2014年3月期よりNTT東日本及びNTT西日本は、IP系収入に含まれるフレッツ光のオプションサービスであるフレッツVPNワイドの収入をフレッツ光ARPUの算定に含めております。これに伴い過年度である2013年3月期第1四半期（4月～6月）、第2四半期（7月～9月）、第3四半期（10月～12月）、第4四半期（1月～3月）及び2013年3月期通期についてもフレッツVPNワイドの収入をフレッツ光ARPUの算定に含めております。修正後の各期のフレッツ光ARPUにおけるフレッツVPNワイドの収入の影響額は下記の通りです。
    - ・ 2013年3月期第1四半期：NTT東日本20円、NTT西日本10円
    - ・ 2013年3月期第2四半期：NTT東日本20円、NTT西日本20円
    - ・ 2013年3月期第3四半期：NTT東日本20円、NTT西日本20円
    - ・ 2013年3月期第4四半期：NTT東日本20円、NTT西日本20円
    - ・ 2013年3月期通期実績：NTT東日本20円、NTT西日本20円

②固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）、加入電話ARPU、INSネットARPU及びフレッツ光ARPUには相互接続通話料が含まれておりません。

③固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）、加入電話ARPU及びINSネットARPU算定上の契約数は、各サービスの契約数であります。

④固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）及びINSネットARPUの算定上、INSネット1500の契約数は、チャンネル数、伝送速度、回線使用料（基本料）いずれについてもINSネット64の10倍程度であることから、INSネット1500の1契約をINSネット64の10倍に換算しております。

⑤フレッツ光ARPU算定上の契約数は、フレッツ光の契約数（フレッツ光はNTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセス、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセスを含む）であります。

⑥NTTドコモにおけるARPU算出時の計算式は、以下のとおりであります。

- ・ 携帯電話総合ARPU（FOMA+Xi）＝ 音声ARPU（FOMA+Xi）＋ パケットARPU（FOMA+Xi）＋ スマートARPU（FOMA+Xi）
  - － 音声ARPU（FOMA+Xi）は、FOMA及びXiサービスによる音声サービスの基本使用料と通話料の収入に基づいており、また、パケットARPU（FOMA+Xi）は、FOMA及びXiサービスによるパケットサービス月額定額料と通信料の収入に基づいており、スマートARPU（FOMA+Xi）は、FOMA及びXiのその他の営業収入の一部（コンテンツ関連収入、料金回収代行手数料、端末補償サービス収入、広告収入等）に基づいております。

⑦2013年3月期第2四半期よりスマートARPUを創設しております。これに伴い、携帯電話総合ARPUにはスマートARPUが含まれております。また、従来パケットARPUに含めていた要素の一部（コンテンツ関連収入等）をスマートARPUに組み替えて算出しており、その対象額は、2013年3月期第2四半期（4月～9月）のパケットARPUのうち90円、2013年3月期通期実績のパケットARPUのうち80円となります。

⑧通信モジュールサービス、電話番号保管サービス、メールアドレス保管サービス及びドコモビジネスランシマーは、携帯電話総合ARPUの算定上、収入、契約数ともに含めておりません。

⑨NTT東日本及びNTT西日本におけるARPU算出時の稼働契約数の計算式は以下のとおりであります。

- ・ 第1四半期（4月～6月）実績=4月～6月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計
- ・ 第2四半期（7月～9月）実績=7月～9月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計
- ・ 第3四半期（10月～12月）実績=10月～12月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計
- ・ 第4四半期（1月～3月）実績=1月～3月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計
- ・ 第2四半期累計（4月～9月）実績=4月～9月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計
- ・ 通期実績=4月～3月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計
- ・ 通期予想（見直し前）=平均稼働契約数〔(前期末契約数+今期末予想契約数)/2〕×12
- ・ 通期予想（見直し後）=4月～9月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計と下期平均稼働契約数〔(9月末契約数+3月末予想契約数)/2〕×6の合計

⑩NTTドコモにおけるARPU算出時の稼働契約数の計算式は以下のとおりであります。

- ・ 第1四半期（4月～6月）実績=4月～6月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計
- ・ 第2四半期（7月～9月）実績=7月～9月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計
- ・ 第3四半期（10月～12月）実績=10月～12月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計
- ・ 第4四半期（1月～3月）実績=1月～3月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計
- ・ 第2四半期累計（4月～9月）実績=4月～9月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計
- ・ 通期実績/予想（見直し前、見直し後）=4月～3月までの各月稼働契約数〔(前月末契約数+当月末契約数)/2〕の合計